

5. 交流・理解・協力 [行政計画]

(1) 姉妹都市・友好都市

都 市 名	概 略	提 携 の 動 機
姉妹区 墨田区 (昭和52年4月10日提携)	中小の事務所や工場が住宅と混在するいわゆる「下町」である。東京スカイツリー周辺は東京東部の新たな観光名所となっており、下町文化と先進機能が融合する地域である。	隅田川をはさんで隣接し、また、同じ東京の下町として密接な繋がりを持つ両区が、共に協調し交流と相互協力を深めることにより、区民生活の向上をはかる。
姉妹都市 オーストラリア ノーザンビーチ市 (旧マンリー市) (昭和57(1982)年8月14日提携)	シドニーからフェリーで30分のリゾート地。マンリービーチは絶景で、サーフィンやライフセービングが盛ん。平成28(2016)年5月にマンリー市、ワリンガー市、ピットウォーター市が合併し、ノーザンビーチ市となる。	昭和55(1980)年のマンリー美術館での日本美術展の開催、昭和57(1982)年の日豪国際シンポジウムをきっかけに、市民相互の異文化交流の発展を目指し提携している。
姉妹都市 宮城県 大崎市(旧古川市) (昭和59年1月14日提携)	「ササニシキ」「ひとめぼれ」や新ブランド米の「ささ結」発祥の地で、有数の米どころとして知られ、大規模な畜産や野菜の生産も盛ん。平成29年12月に「大崎耕土」が世界農業遺産に認定される。 開湯千有余年、温泉番付「東の温泉横綱」鳴子温泉郷は日本の天然温泉11種類(旧泉質名)のうち9種類の泉質と豊富な湯量で、国内外から観光客が訪れる。 平成18年3月31日に古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町が合併し、大崎市となる。	東北新幹線の開通を機縁として生まれた信頼と友情の絆をゆるぎないものとし、一層の相互交流を行うことにより互いの繁栄と発展を目指す。
友好都市 長野県 諏訪市 (昭和59年7月10日提携)	諏訪湖の東岸に位置し、諏訪大社、霧ヶ峰高原、豊富な温泉等の観光地を有する。諏訪大社で7年目毎に行われる天下の大祭「御柱祭」や「諏訪湖祭湖上花火大会」は全国的にも有名である。	四半世紀にわたる「霧ヶ峰学園」の運営、そして新たな少年自然の家「霧ヶ峰学園」建設を通じて育んできた友情の絆を一層深いものとし、両都市相互の発展をはかる。
友好都市 栃木県 日光市(旧藤原町) (昭和60年5月10日提携)	世界遺産「日光の社寺」を代表とする貴重な歴史的・文化的遺産などを有し、鬼怒川・川谷温泉、湯西川・川俣・奥鬼怒温泉郷、奥日光湯元・中禅寺温泉など湯量豊富な温泉に恵まれ、国内外から毎年約1,200万人の観光客が訪れる。 平成18年3月20日に今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村が合併し、日光市となる。	東武鉄道によって直結という関係を背景として培ってきた住民同士の交流を一層促進し、友情の絆を深め、両都市の進展に寄与することを目指す。
友好都市 福島県南会津郡 南会津町(旧田島町) (昭和61年10月8日提携)	福島県の南西部に位置し、東北地方の南の玄関口。「会津田島祇園祭」は、国の重要無形民俗文化財に指定されている。 平成18年3月20日に田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併し、南会津町となる。	昭和61年の会津鬼怒川線の開通により浅草と直結した。これを契機として友情と連帯の絆を結び、もって相互の繁栄と住民生活の一層の向上を目指す。
友好都市 福島県大沼郡 会津美里町(旧会津高田町) (昭和61年11月21日提携)	福島県の西部に位置し、会津文化発祥の地として知られる。東北最古の焼き物である会津本郷焼、白、水色、黄色、紫といった色とりどりのあやめや花菖蒲が咲き誇るあやめ祭りが有名である。 平成17年10月1日に会津高田町、会津本郷町、新鶴村が合併し、会津美里町となる。	学童疎開を機縁として育んできた友情と信頼を基に、一層の交流を進め、住みよい地域社会と豊かな住民生活のため惜しみない努力を行う。
友好都市 大分県 豊後大野市(旧朝地町) (昭和62年12月10日提携)	彫塑家朝倉文夫の生地、原尻の滝(日本の滝100選)など奥豊後の雄大な自然を持ち、磨崖仏等の文化財も有する。大分県を代表する農業地帯である。 平成17年3月31日に朝地町、三重町、清川村、緒方町、大野町、千歳村、犬飼町が合併し、豊後大野市となる。	台東区名誉区民である故朝倉文夫の芸術を介して育んできた友情と信頼を一層深め、豊かな地域社会の発展と住民生活向上のため、たゆまぬ努力を誓う。
姉妹都市 オーストリア ウィーン市第1区 イネレシュタット (平成元(1989)年4月5日提携)	音楽の都ウィーン市の行政区の1つ。シュテファン大聖堂やオペラ座など歴史的建築物や文化遺産が点在し、世界中から多くの観光客が訪れている。	歴史と文化の街という共通点があり、区内小学校音楽部の訪問をきっかけに、文化や人的交流の発展を目指し提携している。
姉妹都市 デンマーク グラズサクセ市 (平成12(2000)年4月17日提携)	福祉先進国デンマークの首都コペンハーゲンの北西にある緑豊かな都市。ボート競技が盛んで、平成21(2009)年にはカヌーのワールドカップが開催された。	福祉ボランティア研修や中学生教育使節団の相互訪問をしていたことから、福祉・教育等で互いの発展を目指し提携している。
友好都市 山形県 村山市 (平成20年10月25日提携)	最上川沿いに開けた緑豊かな農村都市。稲作の他にサクランボ、りんご等の果樹栽培も盛ん。元祖そば街道や東沢バラ公園(かおり風景100選)がある。	浅草寺への大わらじ奉納を機縁として、育んできた友情と信頼を礎に、互いに活力に満ちた豊かな地域社会の発展と住民生活向上のため、惜しみない努力をする。

(2) 連携都市 連携期間 4年間（平成29年度～令和2年度、令和3年度～令和6年度（再締結））

都市名	概略	提携の動機
連携都市 北海道河東郡 鹿追町 （平成29年3月22日協定締結） （令和3年3月31日再締結）	十勝平野の北西部に位置し、酪農や畑作を主体とした農業が盛んである。大雪山国立公園内の然別湖周辺では、手つかずの自然の中で様々なアウトドア体験ができる。冬のしかりべつ湖コタンは幻想的で毎年多くの観光客が訪れる。	鹿追町の児童派遣事業や中学生の修学旅行の受入などの交流実績がある。また、バイオガスパラントによる環境保全や「花と芝生のまちづくり」に積極的に取り組んでおり、環境・産業分野での連携を図る。
連携都市 茨城県 筑西市 （平成29年3月22日協定締結） （令和3年3月25日再締結）	茨城県の県西地域に位置し、関東の秀峰「筑波山」を東に望む。複数河川の水利に恵まれた土地は、古くから水田耕作が盛んであり、現在も市域の半分以上が畑を含めた農地である。特産品は、こだますいか・梨・いちご・米・そば等の農作物が有名。	区内における農産物のPR活動や、小学校児童を招待し、里山体験を行うなど、積極的に交流を行っている。地理的にも比較的本区に近く、区内におけるイベント参加等を通じた産業分野での連携を図る。
連携都市 滋賀県 長浜市 （平成29年3月22日協定締結） （令和3年3月25日再締結）	滋賀県の東北部に位置し、周囲は伊吹山系の山々と、ラムサール条約の登録湿地でもある琵琶湖に面しており、県内でも優れた自然景観を有する。特産品は浜仏壇、鮎寿司、浜縮麺、鴨すきなどがある。	これまでに、上野で長浜市の観音像と文化を紹介する施設「びわ湖長浜 KANNON HOUSE」の設置や、東京藝術大学と共同で特別展を開催した実績がある。区内で積極的に事業展開をしていることから、文化・観光・産業分野での連携を図る。

都市交流課